

「環境保全と共生社会の実現」

富士学苑高等学校

1. 本校におけるボランティア活動の理念

・校訓「報恩・奉仕・精進」

「報恩」・・・「おかげさま」「ありがとう」の気持ちを常に持ち、人々への感謝の気持ちを忘れない。

「奉仕」・・・「私がします」と常に率先し、善行に励む。

「精進」・・・「何事にも全力を尽くす」という「なりきる心」を体得する。



■本校外観



■接心

・校訓を実践するものとして、学校行事に「接心」がある。作務（掃除）、食事作法、座禅、写経等を通じ、「なりきる心」の体得に努める。作務中は、無言で草を取り除き、ほうきでゴミ、落ち葉等を掃き、そのことだけに専念・集中する。このような経験がボランティア活動の清掃に効果を発揮している。また、学校行事で年に二回「全校奉仕」が行われており、毎年春は学校周辺、秋は生徒が住んでいる地域を清掃している。日頃お世話になっている地域に感謝の意を込めて清掃し、富士山世界遺産の地元として、良い環境作りに貢献することを目的に実施している。さらに、地域との連携を図るため、インターアクトクラブが地域ボランティアの推進に励んでいる。インターアクトクラブは、各地域の団体と連携し地域行事等に参加している。

※インターアクトクラブとは富士吉田のロータリークラブの提唱によって国際ロータリー第 2620 地区のインターアクトクラブとして 1990 年に発足した。今年で 32 周年を迎える伝統あるクラブである。また、第 2620 地区には静岡と山梨を合わせて 20 校のインターアクトクラブが所属し、交流を図っている。

2. インターアクトクラブの活動

① 活動事例 1 「社会奉仕活動」 連携 富士吉田ロータリークラブ 様
昭和大学 様

・事業目的

「衛生性」・・・地域住民が健康に暮らせるまちづくり

「美観」・・・地域住民、観光客等様々な人々が美しいと思えるまちづくり

「保全性」・・・世界遺産である「富士山」周辺の環境保全

「安全性」・・・人々、動物など全ての生き物が安全に暮らせる環境づくり

・ 活動内容（成果、課題等）

富士吉田ロータリークラブと連携し、富士北麓地域における清掃活動を行なった。東富士五湖道路沿いを約2時間程度清掃活動を行なった。また、目的地到着後には植樹活動を行なった。クラブ生徒22名が参加した。道路周辺に落とされたゴミの回収、不法投棄された粗大ゴミの回収、市への報告などを行い、環境保全に努めた。

生徒たちも、ロータリークラブ、昭和大学の方々と会話を交えて主体的に活動に参加する様子が見られた。日頃から行われているロータリークラブ、昭和大学の奉仕活動を教えていただき、本校のクラブ活動に活かせる点はないか考えている生徒の姿も見られた。植樹活動では、地球温暖化が大きな社会問題とされている現代において、問題にきちんと目を向けるきっかけとなった。植樹の経験が初めての生徒が多く、笑顔で前向きに活動に参加する姿が見られた。



②活動事例2 「第25回富士ふれあいの村まつり」
連携 山梨県立富士ふれあいセンター 様

・ 事業目的

障がいのある方々と地域にお住まいの方々の交流を図り、相互理解を一層深めること。第25回となる今年度は、「やっと会えたね みんなの笑顔 心を1つに新たなまつりの幕を開けよう」をテーマに開催。

・ 活動内容（成果、課題等）

支援学校、福祉施設、福祉関係団体及び地域住民等による演技・演奏等の発表、作品展示、アトラクション（ゲストによる演技・演奏等）、模擬店、フリーマーケット、お楽しみ抽選会など盛りだくさんの内容で開催した。生徒の活動内容としては、駐車場誘導係、着ぐるみの着用、各アトラクションのスタッフとして活動をした。

イベントを通して、障がいのある方々との交流が深まった。障がいがあるないにかかわらず、このイベントを成功させるという目的のもと会話をし、協力をしていた。お互いの人権や尊厳を大切にし、支え合い、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会、いわば、「共生社会」を実現できていたイベントであった。生徒たちの中には「心のバリアフリー」（様々なからだや心の特性や考え方を持っている全ての人々が、お互いにわかりあうために、話をしたり、支え合うこと）について深く考えるものもいた。相手の感情を共に感じる力を見つけるイベントともなった。



■まとめ■

昨今のコロナによる影響は教育や経済、生活の様々な場面で大きな爪痕を遺してきたが、一方で私たちの生活が便利さや豊かさで溢れ、地域社会の多くの方に教育の場が支えられているという「ありがたさ」に気づき、考えさせられる貴重な機会にもなった。富士学苑は校訓にあるように人間性を育てるという教えを大切にしている。繋がりあうことに困難な時代の中で、生徒たちはその価値に気づき、自ら主体となって今何ができるのかを考え、社会に貢献できることを模索している。これまであった福祉施設などへの繋がりには未だ課題もあるが、奉仕活動や社会貢献の実践を今後も大切にし、生徒たちがより多くの人との関りの中で、成長できる教育を推進していきたい。